

# 創造

No.  
62



## CONTENTS

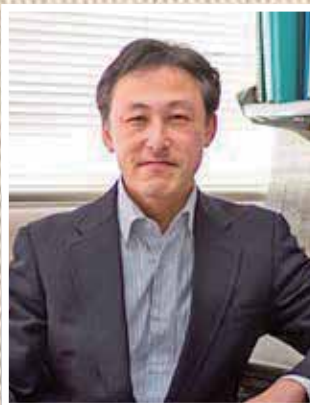
● エッセイ	2
● 第38回「とやま賞」	3
● 「夢の卵」育成事業	6
● きらめき未来塾	8
● 高等教育振興事業、高校生とことん科学セミナー	10
● 令和4年度財団事業概要	11

エッセイ

プラスチックごみ  
問題と微生物

東京工業大学生命理工学院 教授

福居 俊昭 氏



適切に処分されることなく自然環境に流出している。プラスチックは丈夫な反面、分解されにくいために、一旦、環境に流出するといつまでも残ってしまう。海・川・山に捨てられた古そうなレジ袋やお菓子の包装を見たことがある人も多いだろう。海洋に流出するプラスチック量は世界中で年間約800万トンにのぼり、2050年には海洋のプラスチックごみの総量は魚よりも多くなるといふ恐ろしい試算もされている。県の調査では、富山湾沿岸に漂着するごみにはプラスチックや発泡スチロールが多く見られ、その8割は国内から海に流出したごみであった。野生動物がプラスチックごみを誤食して死に至ることで生態系を乱す恐れがある。また紫外線による劣化や波・風によつて破碎されたものはマイクロプラスチックと呼ばれ、生体に与える影響が懸念されている。

子供の頃、夏の海水浴と言えば雨晴海岸か島尾海岸であった。きれいな海と、その彼方にそびえる立山連峰の風景を当時はそれほど意識していなかったが、富山を離れてメディアでこの絶景が紹介されているのを見ると懐かしく思う。

豊かで美しい富山湾を抱える富山県にとって、プラスチックごみによる海洋汚染問題は大事である。現在、世界では年間約3億6000万トン、日本では年間約960万トンのプラスチックが生産されているが、その約1/3はシングルユースと言われる使い捨てプラスチックである。使い終わったプラスチックの一部は

るのは糖や植物油といった再生可能資源であり、石油ではない点も環境にやさしい。このプラスチックは、つくるのも、壊すのも微生物である。人類は微生物の力を醸造や発酵食品に古くから利用しているが、環境問題にも役に立つという一例である。



私は高校理科では生物を履修せず、大学で入学したのも工業化学科であったが、途中でバイオ分野、特に、微生物や酵素の素晴らしい能力に魅了されて研究に携わってきた。現在の研究室では遺伝子組換えの手法を用いて、優れたプラスチック

クを効率よく生産する微生物に改良する研究を進めている。プラスチックごみ問題の解決に少しでも貢献できるように、若い学生さんと共に取り組んでいる。

大手コーヒーチェーンなどでのプラスチックストロー使用の取りやめやレジ袋の有料化で、プラスチックごみ問題に関心をもつ人が増えてきている。生分解性プラスチックは1つの対策となる新技術であるが、私たちにできることとして使用後のプラスチックを正しく捨てることと、プラスチックの使用を減らす・繰り返し使う・リサイクルする3R(リデュース、リユース、リサイクル)も重要であることは言うまでもない。私たちの意識・行動と、新しい技術との両輪で美しい自然を守っていききたいものである。

プロフィール

福居 俊昭 (ふくい としあき)

東京工業大学生命理工学院 教授

1967年 砺波市生まれ

出町中学、高岡高校、京都大学工学部、京都大学大学院工学研究科修了。博士(工学)。

1994年 理化学研究所 研究員

1998年 京都大学大学院工学研究科 助手

2004年 東京工業大学大学院生命理工学研究科 助教授

2014年 東京工業大学生命理工学院 教授

生分解性プラスチック生産菌や超好熱菌などを対象とした微生物工学についての研究に従事。

2006年 酵素工学奨励賞 受賞

2011年 第28回「とやま賞」受賞



第 38 回

令和3年5月20日(木)

# 「とやま賞」贈呈式

## 贈呈式・受賞記念講演

「とやま賞」とは…

富山県の置県百年を記念し、富山県の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設されました。

受賞対象者は、富山県出身者または県内在住者で、学術研究、科学技術、文化・芸術及びスポーツの分野において顕著な業績をあげ、かつ将来の活躍が期待される個人または団体です。



石塚選考委員長による選考経過報告



新田知事より賞状・目録贈呈



第38回「とやま賞」贈呈式は、去る5月20日に、富山電気ビルディングにて執り行われました。  
贈呈式では、新田富山県知事から受賞者5名に賞状及び奨励金目録が手渡されました。また、各受賞者に、受賞の喜びやこれまでの経緯についてプレゼンテーションしていただきました。



受賞記念講演

## 今回の受賞者

学術研究部門 医療分野「臨床循環器内科学

富山大学附属病院第二内科 講師



今村 輝彦 氏

「重症心不全における診療エビデンス」の構築

私は医学部を卒業後、臨床医として循環器内科を専門にしながら研鑽を積んだ後、東京大学やシカゴ大学で臨床研究の方法論を学びました。臨床医として日々の診療に従事しつつ、疑問に思ったこと、考えたこと、発見したことを臨床研究として解析する研究者としての活動も継続しています。特に、従来の治療に抵抗性を示す重症心不全に対する診療・研究に従事して、様々な治療戦略を提唱してきました。

富山大学に赴任した後は、重症心不全に捕らわれず循環器診療に幅広く従事しながら、日々の診療をきっかけにしながら臨床研究を展開しています。教育にも力を入れており、大学院生の学位論文作成を指導したり、医学部学生と抄読会を行って医学論文を作成する指導を行ったりしています。

現在、コロナ禍において、医療業界を取り巻く環境は劇的な変化を見せています。富山県に関しても、今後どのような

展開を見せるのか予断を許さない状況です。臨床医として地域の皆様の健康を守り、研究者として富山の医療・研究を世界に発信し、そして教育者として未来の医療従事者を育てて富山の医療の底上げをはかりたいと考えております。

**学術研究部門 医薬分野「脳神経外科」**

金沢大学医薬保健研究域医学系 講師



木下 雅史 氏

**脳腫瘍に対する次世代覚醒下脳手術の確立**

この度は第38回とやま賞と本稿執筆の貴重な機会を賜り、富山県ひとづくり財団ならびに関係者の皆様に心より御礼申し上げます。これまで私が携わってきた脳腫瘍に対する次世代覚醒下脳手術の確立、本手法により得られる治療成績とヒ

トの脳機能ネットワーク解明における研究成果についてご評価を賜り誠に光栄に存じます。覚醒下脳手術とは、目が覚めた状態で脳の手術を行う画期的治療法です。私たちの手術法により、これまで評価困難とされてきた作業記憶や社会的コミュニケーション能力など、ヒトが生きていく上で必要なこれらの高次脳機能に対する術中評価が可能となりました。脳

神経外科領域のみならず脳機能研究分野における今後の新展開が期待されております。

私は富山県南砺市(旧東砺波郡井口村)の大自然に囲まれた無医村で生まれ育ちました。高岡高等学校を卒業後、金沢大学に進学し、重症患者と未知の領域が多い「脳」に関わる仕事にやりがいを感じ、脳神経外科医を目指しました。大学院時代にはヒトの脳機能解剖研究に取り組み、言語に関わる新規神経ネットワークを見出しました。仏国モンペリエ大学に留学後、覚醒下脳手術の技術研鑽と本神経回路の機能解明に取り組みました。現在の金沢大学脳神経外科では学んできた手法と研究手法を発展させ、「人間らしさとは何か」を常に考えながら脳腫瘍の診療と研究に日々奮闘しております。将来は、本手術法を国内外の脳神経外科医に伝授し、脳腫瘍の治療成績向上と脳科学研究の活性化に貢献できるよう精進していく所存です。

最後に、ご推薦を頂いた中田光俊先生(金沢大学脳神経外科教授・第20回とやま賞受賞)をはじめ、この世界に導いて下さった林裕先生(石川県立中央病院脳神経外科部長)、大脳白質解剖の美しさを教養賜りました篠原治道先生(金沢医科大学解剖学Ⅱ名誉教授・第9回とやま賞受賞)、そして富山県のつながりとご縁に深く感謝申し上げます。

**学術研究部門 理工分野「有機合成化学」**

日本工業大学基幹工学部応用化学科 准教授



小池 隆司 氏

**可視光触媒作用を基盤とした有機合成戦略の開拓**

この度は「可視光触媒作用を基盤とした有機合成戦略の開拓」という研究業績で栄えあるとやま賞をいただき大変光栄に思います。何よりよき共同研究者と、長年支えてくれた家族のおかげです。

私は、富山大学教育学部附属学園で幼稚園から中学校までを過ごし、富山中部高校を卒業して東京工業大学に進学するまで富山で育ちました。ふるさとを離れ、約25年経ち、新幹線開通や市電延線など街の様子が大きく変わりましたが、富山で過ごした日々は何事にも変え難いものです。とくに、小学校の担任の先生からの「継続は力なり」という教えや、受験偏重教育の中でも楽しく学ぶことを教わった高校日本史などは、今でも自分の「知」への探究の礎になっていると感じています。

私は幸運にも大学・大学院で「触媒化学」という学問に出会うことができました。日本は世界に誇ることができる化学技術・産業を有しています。その学術基盤の一つが「触媒化学」です。「触媒化学」

に出会ったことで、漠然と「環境問題や資源問題で世の中に役立つこと」を学びたいと考えていた学生時代の私に、化学を基盤に社会問題にアプローチする道筋が見えました。それから現在に至るまで、初心を忘れず研究を続けてくることができました。学生時代の恩師である故榎屋隆雄東工大教授や留学先のR. H. Grubbsカリフォルニア工科大学教授、素晴らしい先輩や後輩、多くの共同研究者から刺激をもらい、現在の自分へと成長できたと感じています。

私の行っている工学研究は「少しでも現在の社会を良くする」「より良いものを作る」ということがその根底にあります。本賞を励みに、自身もさらに成長し、持続的に発展できる未来型社会構築に貢献できる研究に今後も取り組みます。

**学術研究部門 理工分野「有機化学、高分子化学」**

富山県立大学工学部医薬品工学科 教授



小山 靖人 氏

**ペプチドの交互共重合法の開発と生体材料の創製**

この度は、伝統と名誉ある「とやま賞」を頂きまして誠にありがとうございます。富山県ひとづくり財団ならびに関係



者の皆様に心より御礼申し上げます。これまでの研究においてご指導、ご協力を頂きました先生方、研究室の学生の皆さん、共同研究者の方々、またいつも温かく支えてくれた家族にこの場を借りて改めて感謝申し上げます。

私は2017年より富山県立大学に開設した医薬品工学科の立ち上げ教員として、2016年より本学に所属しています。本学科は伝統ある「くすりの富山」

で創薬を工学することを、研究・教育の目標としています。2019年度に学部生の研究室配属がスタートするまでの期間は、仮校舎(プレハブ)内で学科や研究室の整備をしておりました。より教育効果の高い講義や実習を作り上げるため、内容を教員間で議論して精査し、またそのための授業テキストを用意し、実験室に設備を導入しました。また、研究室の在籍中に学生に新物質開発の成功体験を積んでもらいたいと考え、複数のテーマについて仮校舎内で予備的な実験を重ねました。現在は中央棟という新しい校舎の9階で研究活動に従事しています。今回の受賞対象となったテーマは、研究室に配属した学生(谷口君、宮崎君、坂東さん、小室君、大場君、鈴木さん、工藤さん)と3名の研究員(サンゲータさん、イヘサンさん、ナルギスさん)と一緒に協力し、本学で一から立ち上げた内容に関するものです。

私たちの研究室は低分子医薬品の原薬・中間体の合成と生体高分子材料の開発について研究しています。新しい有機合成手法の開発のみならず、新物性の評価にも自ら取り組んでいます。有機化学の専門的知識・技術に自信を持ち、また柔軟に物事を考えられるような人材を今後、継続的に世間に輩出していきたいと考えています。

文化・芸術部門

現代短歌

未来短歌会、現代歌人協会 所属  
未来短歌会 選者



黒瀬 珂瀾 氏

短歌の創作および普及活動、文芸評論

このたび、名誉ある「とやま賞」を頂けたこと、それを心から嬉しく思うのは、ぼくが生まれてこのかた、大阪、名古屋、東京、ダブリン、ロンドン、博多、金沢と様々に流転を繰り返して来たことに理由があるだろう。今、この賞を授けられるのは、富山の地が、流浪の身だったぼくを迎え入れてくれたことの証であるかのように思う。移住者にとって、地元から顕彰いただくことは、まさに無上のよるこびなので。

しめりたる雪掻くときのこの重み  
天の重みと人は知るべし

幼き日に短歌や俳句を知ること、ぼくはようやく言葉放つ術を知った。高校時代に前衛短歌の精髓に出会うことで、この短いたった一行の詩形が、全宇宙よりも大きな熱量を持ちうることを学んだ。それは、定型という楔が、かえって心を自由にくれるという、優しくも不思議な矛盾を生きたことへの決意でもあった。短歌を生きたことは、人の世の矛盾を見つめ、常識を問い直すことであり、そして、経済効率のために見過ごされる小さな声たちに耳を澄まし、次々に忘れ去られる季節の移ろいを嗅ぎ取ることである。さらに、先人の残した歌を通して、私たちは死者と語り合うこともできる。

立山に臨む青田の一面をゆけば  
死者より風を賜ひぬ

だからぼくは今後、ひとりの歌詠みとして、自らの声だけでなく、この世の多くの人の声、ささやかな声を、たとえ少しでも、隣にいる人に伝える手助けが出来たらと願う。新聞歌壇や各種選歌欄の選者を務める喜びは、その一点にあるといってもよい。

そして、この富山の地を持つ豊かな風土の中から、人の営みのかけがえのなさを掬い取り、この、良き言葉の伝統の心を次世代に伝えてゆきたい。かならず、私たちの言葉は、どこかに、届く。

彼岸会の鐘にみぞれの降りしるを  
ここが此岸と誰が決めたか

お知らせ

第40回「とやま賞」の候補者推薦募集について

募集について、以下のように行う予定です。(令和4年3月時点)

賞を贈呈する部門・分野

学術研究部門(医薬・理工・人文社会の3分野)、科学技術部門、文化・芸術部門、スポーツ部門の4部門3分野

候補者の条件

下記の(1)と(2)の条件をすべて満たすこと

(1) 富山県出身または富山県在住の者

(2) 各部門・分野ですぐれた業績を挙げ、活躍が期待される45歳までの個人または団体

※詳しい条件については、当財団HP (<http://www.t-hito.or.jp/zaidan/toyomashou/data/boshu.html>) を参照

推薦募集期間

令和4年10月初旬~令和4年11月中旬

# 夢の卵★ 育成事業

この事業は、ノーベル物理学賞を受賞された故 小柴昌俊さんの「子どもたちには『夢の卵』を持ち続けてほしい」とのメッセージにちなんで企画しました。子どもたちに「いくつもの『夢の卵』をもってもらふこと」、「『夢の卵』を温めてもらうこと」、そして「『夢の卵』を孵すこと」を支援し、自分の将来を考えてもらうきっかけづくりをねらいとして、平成16年度から実施しており、今年で17回目となりました。

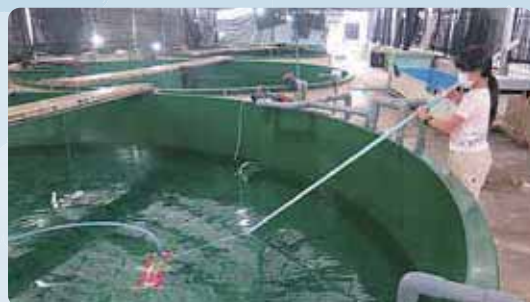
4月中旬から5月にかけて、県内の小学校5、6年生と中学校1、2年生を対象に、「将来の夢（＝夢の卵）」を書いた作文を募集し、その中から選んだ4名の児童生徒が、各分野の専門家に短期入門をしました。また、より多くの子どもたちの夢を応援するため、それ以外の秀でた作品を佳作として表彰しています。

## 小学生の部（応募数674作品）

### マグロの養殖研究者になりたい

佐々木 映瑠 さん（高岡市・小学6年）

養殖の研究や環境問題に興味を持ち、近畿大学水産研究所富山実験場へ入門し、養殖魚の見学や顕微鏡を使ったプランクトンなどの観察、養殖施設の管理を体験しました。



水槽の掃除を体験しました



体験記  
より

これからの水産業の研究は私にとって驚くことが多く、魚の特徴・習性を理解して、より優れた魚に育つよう品種改良されていることがすごいと思いました。

消費者が喜ぶところを思い、魚や環境のことを考えていけるような研究者になりたいです。



顕微鏡を使ってプランクトンを観察しました



立山の自然や歴史について教えてもらいました



学生さんの登山研修会、一緒に登山しました

### 山や自然のすばらしさをたくさんの人に伝える山岳ガイドになりたい

二宮 由衣 さん（富山市・小学5年）

山岳ガイドになりたいという強い気持ちをもって、国立登山研修所および立山カルデラ砂防博物館へ入門し、実際に山岳ガイドと対話したり、立山の自然や登山技術について学んだりしました。



体験記  
より

登山に必要な技術や山の自然などをたくさん教えていただき、とても勉強になりました。

教えてもらったことを心がけて、これからも登山をして皆さんのようなガイドさんになりたいです。





令和3年度 夢の卵表彰式



- ① サッカー選手
- ② 看護師
- ③ 野球選手
- ④ 保育士
- ⑤ 医師



＜令和3年度の入賞者数＞

小学生の部 優秀賞（短期入門）2名 佳作 12名  
 中学生の部 優秀賞（短期入門）2名 佳作 16名

中学生の部（応募数1,155作品）

農作物品種改良研究者になりたい

経国 優珠 さん（高岡市・中学2年）

農作物の品種改良に興味を持ち、富山県農林水産総合技術センター農業研究所に入門しました。イネの育種の仕事について授粉やマーカー育種を通して学ぶとともに、食味試験や生育調査なども体験しました。



イネの授粉を体験しました



品種改良をするときには、未来に何が必要になるかを考える必要があるということを教えてもらいました。

今回、実際に体験して学んだことを忘れず、夢に向かって頑張っていきたいです。



成熟期調査を体験しました



アナウンサーとの懇談

野球の楽しさを伝えられるアナウンサーになりたい

吉越 帆高 さん（富山市・中学1年）

スポーツの楽しさを伝えたいという気持ちをもって、NHK富山放送局に入門し、アナウンサーの仕事や心構えを学びました。また、実況をテレビで見た後に、その準備や気を付ける点について、お話を伺いました。



スタジオを見学しました



実際にスタジオを見学することができ、カメラやライトの数の多さにとても驚いた。

人との関わりをもっと大切にというお話がすごく心に残った。今回聞いたお話を、学校の広報委員会の仕事にも生かしていきたい。

# ☆ きらめき未来塾 ☆

子どもたちの発想力や創造力・ユーモアのセンスなど多様な可能性を引き出すため、各分野で活躍されている方を講師にお招きし、夏休み期間中に3つの道場を開催しました。

## ☆ 右脳活用道場

直感的なイメージ、柔軟な発想力、創造力を形にする表現力を育てる

講師：森 みちこ 先生（漫画家）

漫画作りを通して、自分のアイデアを絵と言葉で表現する手法を学びました。

みんなに読んでもらう作品として仕上げることを体験することで、自分のイメージや思いを伝える絵や言葉の展開・表現の難しさと、1つの作品が出来たときの達成感を味わいました。

※参加者が描いた漫画は、1冊の本にまとめました。

- .....
- 【7/26】オリジナルキャラクターを考える
- 【7/31】ネームを描く
- 【8/20】漫画原稿制作へ
- 【8/25】漫画原稿の仕上げ
- .....



完成した漫画作品集



漫画の描き方について学ぶ



漫画原稿の制作

### 参加者の感想

- ペン入れやスクリーントーンの貼り付けなど今までしたことのない貴重な体験ができた。
- ちゃんとした漫画を描くのは初めてだったけれども、楽しく描くことができました。

## ☆ 思考道場

ゲーム感覚で数学的な考え方を磨き、柔らかい思考力・発想力を育てる



「すごろくドボンゲーム」



「dLますの不思議」



「サッカーボールづくり」

講師：川口先生、島先生、戸谷先生、西尾先生、窪田先生（県内小学校教員5名）

様々な課題に対し、操作活動や話し合い活動を通して協力しながら、解決に向けて取り組みました。

お互いに思考力や発想力を刺激し合い、“算数の楽しさや奥深さ”を体感しました。

- .....
- 【7/28】「すごろくドボンゲーム」「一刀切り」「タングラム」
- 【8/5】「一筆書き」「dLますの不思議」
- 【8/12】「くるりんぱ」「ドット絵」「ニシン（2進）暗号」
- 【8/26】「仲間集め」「サッカーボールづくり」
- .....

### 参加者の感想

- 学校ではやらないいろんな難しい問題にチャレンジできて楽しかった。
- 思考道場に参加して、一筆書きができるものとできないものがあることを初めて知って、とても印象に残った。



# ☆お笑い道場

落語を学び、ユーモアセンスと表現力を育てる

講師：安野家 仁楽齋 氏（社会人落語家、フリーアナウンサー）

本物の落語を味わい、扇子の使い方や落語を話すときの視線の配り方、しぐさ等を学びました。また、実際に高座に上がって自己紹介したり落語のオチを練習したりしました。

お笑い大会では会場に集まった家族の皆さんに、<sup>こぼなし</sup> <sup>なぞ</sup> 小咄や謎かけを披露しました。



お笑い大会 小咄披露

- .....
- 【8/4】落語を勉強しよう
- 【8/11】自分を表現しよう
- 【8/18】大きな声で会話しよう
- 【8/22】お笑い大会（発表会）
- .....



先生から所作指導



お笑い大会 大喜利紅白戦

## 参加者の感想

- 「あいうえお作文」でみんながつかないで一つの文を作るのが楽しかった。
- お笑い大会では、小咄を披露するときすごく緊張したけど、みんなを笑わせることができ嬉しかった。

## ひとつづくり財団からのお知らせ

### 富山県教育記念館の会議室ご利用案内



富山県教育記念館では大会議室1室（収容人数：60名程度）、会議室3室（収容人数各20名程度）の計4室を貸出しています。会議や講演会、試験会場等にご利用いただけます。

#### ご利用のお問合せ・お申し込みは

当館1階受付 TEL：076-433-2770 まで

※受付時間 祝日を除く8時30分から17時まで

ご利用料金、空き状況などは、下記から確認できます。

<http://www.t-hito.or.jp/reserve/>



### 賛助会員の募集

富山県ひとつづくり財団では、広く財団の目的に賛同される個人、法人の方々に賛助会員としてご協力いただきたいと考えております。多くの皆様のご賛同をお願いいたします。

- 年会費：法人会員 年一口 30,000円  
個人会員 年一口 3,000円
- 特典：機関紙の定期配布（年1回）、イベント等の開催案内、各種報告書等の配布
- 申込方法：入会ご希望の方は、財団へご連絡ください。



# こんな事業もしています

## 高等教育振興事業

県内の高等教育機関が実施する教育研究活動及び地域連携活動等に対する支援(助成金の交付)を通じて、本県の学術、文化及び産業の発展を図りました。

### 助成内容と助成先(令和3年度の助成見込み:29件 10,969千円)

#### ●学会等の開催に対する助成事業 4件400千円(助成率 1/3、上限100千円)

- ・第15回日本統合失調症学会(富山大学)など

#### ●公開講座・シンポジウム等の開催に対する助成事業

12件2,790千円(助成率 10/10、上限300千円)

- ・富山国際大学情報シンポジウム「地域におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の進展に向けて」
- ・富山福祉短期大学「臨床美術セミナー」など

#### ●研究助成事業

【若手研究者育成枠】2件700千円(助成率 定額、上限350千円)

- ・海藻類と白飯の組み合わせが食後血糖上昇へ与える影響(富山短期大学)など

【地域課題解決枠】4件1,948千円(助成率 10/10、上限500千円)

- ・地域金融の再構築の検討:地域と地域金融の持続可能な発展を目指して(高岡法科大学)など



#### ●大学連携支援事業(大学コンソーシアム富山への支援) 2件755千円(助成率 1/2)

- ・学生地域リーダー塾 など

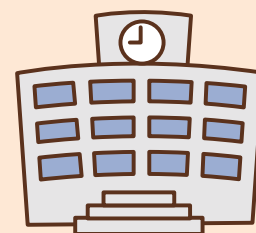
#### ●私立大学振興事業(県内4年制私立大学への支援)

【学生確保推進支援事業】4件3,876千円(助成率 1/2、上限1,000千円)

- ・オープンキャンパス
- ・就職、キャリア支援事業

【大学活性化支援事業】1件500千円(助成率 定額、上限500千円)

- ・イブニングセミナー



## 高校生とことん科学セミナー

県内の高校生に科学への関心をさらに深め、将来の進路や人生を考えてもらうことを目的に、各分野で活躍中の研究者を講師に招き、例年3月頃に「講義」や「実習」を行っています。

**テーマ** 「V.S.古代人 青銅を1000℃にして溶かせるか？」

**講師** 三船 温尚 氏

(富山大学学術研究部芸術文化学系 教授) ※開催当時



※内容および写真は令和2年度のものであります。



# 令和4年度 富山県ひとづくり財団 事業概要

## 1 人づくりに関する調査研究及び普及活動

### ① とやまファン倶楽部事業

富山県をこよなく愛し、全国から富山県を応援する方々のヒューマンネットワークづくりを推進します。

### ② 退職教員等活用推進事業

退職教員や民間企業の人材を登録し、学校現場へ紹介することにより、学校における人材確保と優れた指導実践の継承を図ります。

## 2 元気で創造性豊かな子どもの育成事業

### ① 「夢の卵」育成事業

### ② 「きらめき未来塾」事業

右脳活用道場（漫画）、思考道場（算数）、お笑い道場（落語）

### ③ 「高校生とことん科学セミナー」開催事業

科学に興味のある高校1・2年生を対象に、最先端の科学に触れ、科学者等とひざを交えて語り合う交流の場を持ち、将来の自分の進路について考えてもらいます。

### ④ 子どもたちの生きる力を育む起業家教育推進事業

小学6年生および中学1・2年生を対象としたワークショップの開催を通じて、県内における子どもの起業家教育の普及を図ります。



## 3 元気な地域づくり事業

### 「学ぼう！ふるさと未来」支援事業

ふるさとに学び、ふるさととともに生きる地域学習を実践・推進している小学校を支援します。

## 4 優れた人材育成支援事業

### 「とやま賞」贈呈事業

## 5 教育の歴史文化に関する文献の収集・保管・展示

### ① 企画展及び恒例展の開催

#### 富山県教育記念館1階展示スケジュール

【企画展】 4/13～6/12 「郷土の先賢展」～とやまを拓いた女性たち～

6/15～7/3 「青い目の人形展」

【恒例展】 7/13～8/26 「さんすうワールド展」

8/31～9/29 「子どもの目、自然不思議発見写真展」

10/2～10/8 「富山県教職員厚生会退職厚生部富山支部会員作品展」

10/19～11/13 「児童・生徒によるものづくり展」

11/19～12/4 「富山県造形教育作品展」

12/10～1/8 「アイデアロボット展」

1/20～2/5 「富山県中学校美術展」

2/15～3/26 「富山県版造形教育作品展・秀作回顧展」



### ② 教育資料収集

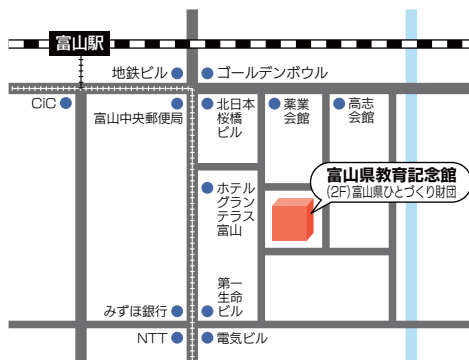
富山県の教育の歴史や文化に関する文献や資料の収集及び整理を行い、各種教育展示等で利用します。

## 6 高等教育振興事業

県内の高等教育機関が実施する教育研究活動及び地域連携活動等に対して支援します。

## 7 教育記念館管理運営事業

学校教育関係団体が集う富山県教育記念館の管理運営を行います。



## 公益財団法人 富山県ひとづくり財団

〒930-0018 富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階  
TEL (076) 444-2000 FAX (076) 444-2001

Mail [toyama@t-hito.or.jp](mailto:toyama@t-hito.or.jp)

HP <http://www.t-hito.or.jp/zaidan/>

Twitter [https://twitter.com/t\\_hitozukuri](https://twitter.com/t_hitozukuri)



HP



Twitter

令和4年3月発行